

日伯新聞

本紙定価
半年十ニル
全年拾八ニル

禍根永遠に盡さず

パウリスタは上方費六

去月二十七日を最後として聖市は漸く砲煙の巷を脱し流血の惨を免れしことを得た、此間二十有三日、無事の市民は故なくして生命を失ひ或は傷み、父母に離れ兄弟に別れ妻を失ひ、労働者は職を失ひ食を奪はれ有産者も難に避難を餘儀なくされ混乱状態に陥つた、サンパウロ州の歴史は茲に千九百二十四年七月真黒な數頁を残し、パウリスタの尊嚴は著しく傷けられた。

由來伯國內には何所とも知れず暴動製造所がある、而してその表面の元兇はいつも聯邦の陸軍であり或は海軍である、不逞の政治家之に與ひし或は之を唆し、時ならぬに平地に波瀾を起させ國を傷ひ民を害して顧み所なく、而も彼等一味は多くの場合身首所を異にするに及ばず、安全に経過するを常とし、今次の暴動も千九百二十二年のそれに於て所留餘りに寛く失し、政府當局果して何するものぞとの懸念に起因する所なりと云はねばならぬ、戒嚴令はナロリのお尻の如く頻出する其繁に堪えぬ程であるが毫も軍人軍族に向つて嚴格に適用されたる例を聞かない、是れ軍人革命暴動の根絶せざる所以である。

出でずしてマトグロソに勃發することあるべく、聯邦城下亦決して其憂なしと云ふべからず、伯國共和の主体必ずしも安泰強固と云ふを得ぬ、

革命騒動後記

官軍勝利す
革命軍敗けす
正々堂々の退却

七月十八日の本報は全く危険状態に陥り殊に二十五日からは背後のモトカに官軍、前線ランヂェルベスナナには叛徒の第一線警隊があつて腹背共に銃口ならざるなく電燈は二十四日以來消滅し二十一日には本報樓上に官軍の砲弾が三發迄も落下し其内一彈は二階の廊下を貫通して従業本社員を脅かした、此時はかりは社員も寢床をテーブルの下に移さしめ、而も之を撃破し得ず捕獲し得ずして何の嚴罰ぞや、政府者は叛徒の退却し呉れたるに依つて寧ろヤレ／＼安心だの氣味あり、長驅之を追撃するの勇氣に乏しく平常勇敢を以て誇るパウリスタ人が僅かに砲火の難を逃れたるに蘇生の思を爲すの外亦何等の手段を講ずるの意氣なきは抑々何の爲ぞや。

之を要するにパウリスタ人は所詮金の民なり決して武の民に非ず、富めるだけ喧嘩には一番弱く最も憶病な民たることを如實に立証した、州兵八千マカの場合には尻の突張りにもならぬことを證據立てた、蓋し州民の大多數は外國人だからである吾人は今次の動亂を通して一族族で結合せる我日本を觀る時涙ぐまざるを感せずには居られない。

革命中期の一般情况

十八日頃までの叛軍兵力は女人筋の純調では約四千五百と注せられた、之に對して官軍側は幾何の兵力を擁して來てたか云ふに約八千、戦線は北端イタケイからイビランガに及ぶ迄で約二十キロ突如直つてゐた、十六日ランヂェルベス方面から遂に官軍はイビランガ迄退却したのみで十九日夜は早くもビラマリアナ電車庫附近に現はれ一面に警隊を築いた、二十日はバイヤ兵エスビリツトサント兵などが連夜兼行でビラマリアナに侵入した、ペンニヤ方面からレン、アルトダモツカ、カムフシイ方面にはリョ州兵ミナス州兵南州州兵ポルトアレグレ市の聯邦兵などが着き其數は三万と云ひ二万と號(區々まち／＼)でつたが記者がイビランガ方面で二十二日發つべき一士官が聽取した所によると約一万二千といふことであつたが其後多少増加した形跡あり大難巴一算積つて一万五千と算せられた。

反軍苦肉の招兵策

十六日頃迄は叛徒頻りにルイスアンニオ、ベルグイロ、果てはアベニダ、パウリスタ迄も警隊を築いて嚴重防禦して居たが二十一日頃から革命軍第一線に兵卒を集めて對記各方面は殆んど番卒のみを止めて居た官軍大舉進攻の事實に接するや革命軍司令部では二十三日附を以て次の様な兵士募集の告示を出した曰く

激戦地は何處

斯くして軍部の駐地は官軍右翼に於てはペンニヤからリョ州兵パウロ鐵道のキンタハラド方面ベレンジニヨ一帶で官軍主力はイビランガの丘ト下りモトカ、カンヂンシ方面左翼はイビランガよりパウリスタを突破せんとする形勢となり茲に始めて書物に書いてある通りの軍行は行はれんとした、従つて上記の各所は激戦地となり激戦地は激戦地と形容したものであらうが近代人は之を知らぬからペンニヤの煮え返へる様であつたさでも形容してわかつた、此間ベレン方面は叛軍が退却し重砲四門を擧げ野砲約四十門飛行機五臺機關砲機關銃之れに伴ふた程であつた、この他工兵輜重兵なども相當に居たし南河州兵などは軍用自動車も持ち込み糧食はサントスからサンカタノ汽汽車積み夫れより各班に分配して居り仲々豊富に構えて居た。

反軍の漸退

二十三日アルトダモツカを完全に奪取されベレン方面も漸退して二十五日から六日へ掛けて叛派の第一線は左翼ランヂェルベスから右翼はランヂェルベスから縮少し二十六日には市内の各警隊には殆んど番卒が一人位居残れただけで兵卒は全部前線に退却して居た、記者は大迂回を敢て二十四六七の三日を官軍五翼司令部からブラスの叛軍第一線迄進出してみたがモトカに通ずる各横町は警隊なきがら大抵は七八人乃至十人位で守備して居た政廳下の公園内には二ヶ所芝生内に獨逸人が正式警隊を築き中々々々しく構えて居た、試みにその中に入つて戦況を聞いて見ると彼等も此時は既に包圍されつゝあることを知つて居た此時間ルイス公園内から四五發カムシの官軍を砲撃した。

反徒の總退却

二十七日は午前午後の二回に稍著しい交戦があつたのみで比較的靜謐に暮れた午後十一時反徒は總退却を開始したのである、此夜ブラス方面では官軍側の銃聲あるのみで反徒側では更に應戦する氣色がない、二十八日午前一時悲痛なる信號喇叭がアベニダ、ブラス方面からカンタレラ、カンヂンシ方面に響き渡り續いて官軍が行き午前四時ルイス停車場から將軍車馬兵器彈藥諸共肅々として立派な豫定の退却を完了した。

重砲の陣容

一度市街戦に化しては並大抵の手段では行かぬと悟つたかどう知らぬが官軍側では大擧援兵を送ると共に重砲四門タンク拾壹野砲約四十門飛行機五臺機關砲機關銃之れに伴ふた程であつた、この他工兵輜重兵なども相當に居たし南河州兵などは軍用自動車も持ち込み糧食はサントスからサンカタノ汽汽車積

兩軍の砲兵陣地

官軍の砲兵陣地はペンニヤよりイビランガの後方カンヂンシの丘上二十四門を移し右翼及本隊からブラスモトカを左翼からはランヂェルベスからを左翼からブラスモトカを左翼からブラスモトカを左翼からブラスモトカを左翼からブラスモトカを左翼から

重砲の陣容

官軍側では重砲四門をイビランガの北東方面に持込み續いてタンクを拾壹連び込んだ、南米の騒動に最新式の武器タンクが顔を出したのは今回が始めてでタンク來の聲に叛徒はビ

反徒の跡

斯くして二十八日黎明官軍側斥候は反徒側の警隊が引れも漢抜けの聲もなつて居ることを發見し午前時半頃にはチラ／＼官派の將卒が市街の中

反徒の跡

斯くして二十八日黎明官軍側斥候は反徒側の警隊が引れも漢抜けの聲もなつて居ることを發見し午前時半頃にはチラ／＼官派の將卒が市街の中

官軍の總入都

一度び叛徒が逃げたので官軍側の將卒は掛値のない所愁眉を開き...

六列車に満載

既に二十七日午後十一時頃から退却行動に出始めた反徒は...

落行先は何所

二十八日カンピナス驛を無抵抗で通過したことは報せられておるの外...

反徒の退却振

タンク車重砲車以後は叛徒側では所詮耐久戦の不可能なるを悟り早くも...

行掛の駄賃

軍用金がなくては戦争が出来ない革軍も早く見せる所あり行掛の駄賃...

告示

今回の事變に因り死傷若くは財産に損害を被る者若くは其關係者...

死傷は如何程

此點も何等確據するに足る統計がない、リベロパダの赤十字社に就いて...

平和運動

聖市商業會議所會頭マドソアレス氏サンパウロ市加徳方教本山管長...

此は事實か

叛將イジドローベス氏は人物でない少くも謀略を起して政府側を...

平和克復

前掲の如く州統領カ氏が無事政廳に歸つたので三週間以上臨時政府の名に於て脅かされた聖市は完全に元...

SOCIEDADE KNOWLES & FOSTER PARA O BRASIL LTDA.



新式農具 一切取揃へあります

諸機械類 何なりと御註文に 應じます

聖市 州都サンセント十二番 ノウレス 商会

當社貸付移殖民諸君に謹告

一、爲替相場が非常によくなりました、御入金なさるのは今の内です

海外興業株式會社伯國支店 Kaigai Kogyo Kaisha Caixa 1082 S. Paulo

砲煙日誌

七月十九日(土曜)

平時の如く朝就業す、午後奥地行き
の新聞を全派ルズ驛に運び係り交
渉の結果漸くモリアナバウリス
線行き分の發送を許され残部は止
むなく持ち歸る、避難民の停車場に
押し寄せるもの引きも切らず汽車は
適當の時を見計らうて發車す、夜は
砲聲連りにして一步も出を待す

七月二十日(日曜)

昨夜よりの對戦未だ止まず夜間官軍
はペンニヤよりブラス驛を目標に
砲撃し居たるも今朝は八時頃カム
シーよりアトコサンパワロへ向け
砲丸の飛來するあり同劇場の被害甚
だしき模様なり、昨夜の砲撃に社
附近カエタノ、ピント街は被害殊に
ひどく窓は砕け壁は飛んで殆んど全
滅に近し、中にも一家親子八人熱睡
中一丸落下して父母即死し十二歳を
頭に六人の子供の生残れるなど悲惨
と云ふも愚なり此邊一帶に何等軍
の防備あるにあらず官軍の電手も
何物を照準として發砲せるに其無
茶苦茶の態度正しく度を越ゆと云ふ
べし

七月二十一日(月曜)

午後五時半一丸社の隣の屋根を掠め
他の一は二階の角に命中直徑二尺程
の穴を開け一室を破壊す、夜に入り
モツカ街全線に亘り小銃戦激しく時
々榴散弾の空中に爆發するあり社の
附近銃丸の砲り冬の野を行く木枯の
ごとくセラリヤの鉛板屋根を打つ音
窓破子を破る響絶え間なく闇の闇な
るを思はしむ

七月二十二日(火曜)

午前二時とも覺し頃ペンニヤより
ブラス驛に向つて砲撃開始され革軍
亦之に應ず、發砲の音、墜下爆發の
響激々として耳底に徹し凄愴の氣滿
つビラリアナ方面の闇も亦盛なる
が如し、午後クレズビ紡績工場火災
に罹る

七月二十三日(水曜)

昨夜の小火災關寸止の止みなく
殊に夜に入りて最も猛烈なり、午後
警察の屋根に彈九二個命中せるも幸
に八番に傷害なかりき、アンタルチ
カの脱舎に砲丸墜下せりて馬匹を
他所に移すに會ふ其數二千を越ゆ、
屠所に曳かるゝ時の悲哀あるに非ざ
れど左りとて自由の牧場に綠草を
ひ行く時の生氣あらず、これも危害
を避く群の一部かと思へば一種異様
の哀感なき能はず

七月二十四日(木曜)

モツカ街の激戦朝六時頃まで續く、
砲丸の小止みを利用して社前の街路
上の銃丸を拾ふ、小銃丸八十餘、砲
丸の破片若干を收獲す、此の間數分
間なり、社員一同午前十時發車
ラン、デヤルンアリメカ、イン
デアノポリスを大迂迴してグキマ
リアナに行く、車庫のあたり官軍
の砲を築きて此の附近を固むア
主にして人民に對する態度頗る突
食なり往路に四時間歸路に三時間
費し社長宅と交通全絶たれてより
五日目漸く相互の安否を知り合ふ
得たり、午後アンタルチカ、カン
マララ大倉庫に火災始まる

七月二十五日(金曜)

ブラス、モツカ方面の砲撃より引
き續き旺なりし朝八時頃に至り
て少しく鎮まる、午後三時より約二
時間カムプシよりブラス驛を目標
に砲撃激しく社の附近に落下せる
もの無數、爆發の響耳も聾せんば
りなり、電燈なく煙硝の臭のみ強し
之が爲のモツカ方面の革軍稍々退却
し銃聲僅かに鎮まる、此日革軍自動
車にて宣傳ビラを撒く

七月二十六日(土曜)

午前十時半モツカ街の丘より連りに發
射せる官軍の榴散弾はビラチニガ
街の上にて爆發す、官軍の飛行機
二臺遙かに市の上空を飛翔し革軍の
配備偵察旁々爆彈を投下す、市中
には革軍の向つて盛んに發砲せり
ミナス兵今夜モツカに入るの噂あり
ペン、アルトドモツカの邊居残り
の住民はミナス兵の爲に掠奪、強姦
の憂き目に遇ひ之が爲に恐怖の念を
懐ける折柄なれば不安と狼狽の裡に
避難するもの引きも切らず夕刻に至
り此附近にて居残れる者只本社員の
み、電燈はなく○燈は消されて夜は

七月二十七日(日曜)

モツカ方面の銃聲全く絶ゆ五時頃カ
ムプシ方面よりブラス驛を射撃す
ること約三十分煙塵に立ち上る、
銃砲聲の暫時杜絶したる間を利用し
て○場を迂迴するに革軍はモツカを
ペンベードロ二世廣場迄引き上げ此處
に野砲を築きて防備忘りなきが如し
午後七時頃よりブラス驛附近に激闘
あり

七月二十八日(月曜)

午前一時半よりブラス驛最後の死守
銃隊を伍を整えビラチニガを行進
す、開けば革軍は昨夜十時より徐々
汽車に乗じて奥地へ向け退却し湯
迄に全部引上げたるなり、官軍の
威張るも無理なし、行く所總て無人
の境なれば、正午過ぎの町は避難民
の歸るもの見物に出歩くもの等に
往來するが如く其中を小銃片手に警
戒の爲に飛ぶ官軍騎兵の姿物々
し、社の隣人も夕刻歸宅せるが避難
中宿所なくして二夜を外登一枚に
立ち盡せりとか、顔青ざめて僅か
見ぬ間に頼みやつて見ゆるも哀な
り、多くの人々には勝敗が官軍何れ
となるも何等之には關せざるもの
如く唯騒亂の漸く鎮まり其身に危害
なかりしを蘇生の思ひて衷心より欣
び合へる様見えぬ同人記

破壊の跡を訪ねて

二十三日間の革命戦革軍の退却
當初の大聲に似ず其終りの餘りに
ツクないの何物足らぬ心地がす
るとはいへ戦争は矢張り戦争、其
際際な破壊の跡を眺めるとき其動機
の如何を問はず只無闇と戦争其物に
はどうしても好敵は持たない、假
に一步譲り革命戦争が人間生活を
改善しより良き境涯を形づくべく
向上の楷標として必須なるものとす
るも現在之が爲に犠牲を拂はざる
側から見れば餘り好ましい感は
しましと思ふ、戦跡を巡りつ一人
此感を深ふした、
革軍が退去した二十八日正午社を出
て先づモツカ街を東へ進る、銃丸の
跡はもう見飽きた、鐵道の踏切りに
自動車が一臺目茶苦茶に破壊されて
ゐる、電線は八分通り切斷、クヌ
ビの大紡績工場には幾十の彈砲碎
跡の跡で蜂の巣の様、然かも二十
二日の火災の爲の無慘な殘骸の輪廓
を殘して立つて居た、附近の住宅
も満足なもの一つもない、丘上
に新築した瀟灑な家が官軍の爲の野
代りに利用され所々は扶け援かれ
てあるもの氣の毒、降つて鐵道沿線
の火災の跡へ行けば煙りが未だ止ん
で居ない、ガソリンの精粉場、ビス
ケット工場マラララ街の倉庫等打ち續
に燒き拂はれ附近數ヶ所の住宅も同
様の運命に遭つて居た、此邊一田の
住宅は前の日、ミナス軍の爲に掠奪
の過戸は銃底で破られ僅かに剣で突
き抜かれた金目の物は一ツ残り今宵
奪取、平和の日到来ヤレ嬉しと今宵
こそおのが臥家に安き夢結ばんと
歸り来る避難民が泣き泣きつは
此有様に泣く涙も出でず只茫然と
門口に佇んで居るのを目撃しては
して平氣で居られや「掠奪られた
の」と聞けば避難所で汚れた自分の
着物を指して「ただこれだけ」と
ブラス驛近くは流石激戦地帯だけ
つて其跡の惨めさは想像の外だ、爆
裂の跡のひびきは言はずもがな、ボ
ロンに避難して居る者が家屋倒壊の
爲めに下敷となつて壓死した等の慘
事は幾つもあったらしい、引返して
カンプシに出る、此處も官軍の駐
つて居た所だけに相當荒されてゐる
それよりタマンダ街を通り海興
務所附近の被害程度を視てベルグ
ロに出で官軍の營舎第五大隊前

ひらた旅館

館主 平田 崎太郎
パウル市ソコバナ驛真上

東京館

電話シダマ一四七六番
ルアマウア二九一番
聖市ソコバナ驛前
柳木商店

CASAOKASIMA

Caixa Postal 14
Est. C.Cezar Sorocabana
▲日本各種
▲食料品
▲種子物
▲岡嶋商店
▲ベビダス
▲農産物
▲委託販賣
日光館
榮門松
サントス市ブラッサ、デ、ジョ
ゼーボニファシオ五十一

成功館

内國産鯉節製造元
古謝 將義
電話二〇〇八番
サントス市ラルゴセツチデセツランプロ一五

御旅館旭

野口喜平治
電話セント四二〇二
聖市コンセルイロ、フルタード街一番(コンデ板上)
カバリーナ兩驛よりの電車は三九番を御便宜ご致候

革命戦五分感

▲革命の警鐘 何が故に又何が爲めに鳴るのか... 革命の警鐘は五分感である。...

▲社会奉仕 十八日午後三時三十分... 社会奉仕の活動は社会奉仕の活動である。...

▲弾丸 十九日午後八時... 弾丸の飛ぶ音が街を騒がせた。...

▲避難民 戦況は日々變り前日... 避難民の苦しみは増えている。...

戦影の夢

戦影や薄き、一九二四年七月... 戦影の夢は現実の戦いを映し出す。...

▲弾丸は飛ぶ 夢の子... 弾丸は飛ぶ、夢の子は泣く。...

▲原村喜之助 運搬用 貸自動車業... 原村喜之助の活動は社会奉仕の活動である。...

Egreja Japonesa Rua Conde Sarzedas 23 Caixa 1114 S. Paulo 市 聖 日 本人 基 督 教 會

廣島屋旅館 市市コソダ街五十三番 小川源右門 電話セントラル五八一九

日本旅館 ノロエヌラ線バウル驛前 玉比久孟 那重德 沖山心平

業車働自賃 Garage Congresso Praça João Mendes Telephone Central 81 GARAGE NORMAL Tel, Cidade 56 Praça da Republica 43



●危かつた領事館の通達

去月二十六日飛行機から聖市市民に立退けたい陸軍大臣の通知が全市に舞ひ下り何れもコリヤ大變と心配して所へ二十七日にはリオの我大使館からも同様の電報が届いたとやら

●臨時救済會 騒動が永引くので中でも日給稼ぎの者などは忽ち其の生活に差支を生じ避難するにも旅費はなし路止るにも金はなしと云ふ

●移住船 大阪毎日新聞社の企に係る東宮御成婚記念渡伯移民百名に普通移民二百名は今月一日午前

●高岡ドクトル歸郷 六月下旬から受験の爲めリオ出張中の全氏は去月二十八日午後四時海路サントスを経て歸郷の途に就いて

●領事館員の出張

革命軍退去と共に齊藤書記生は二十八日サントス分館に出張二十九日歸郷、又嶺書記生土屋書記生は三十日自動車にてサントスに赴き、又嶺書記生は三十日自動車にてサントスに赴き、又嶺書記生は三十日自動車にてサントスに赴き

●迅速な復舊工事 流石は金儲けに抜目がないサンパウロ人のこと、復舊工事は急ぎ電車を復舊開始となつた、市中の繁華は何れも取拂はれ

●邦人消息一東 齊藤總領事 家族皆無事、江越技師 一砲命中家族無事、五反田書記生 皆無事、土屋書記生 皆無事、原口書記生 皆無事

●魚類は今日から 約四週間魚類が来ず今日から漸く生魚が市場に現はれたが戦時中は肉類も満足にな

●諸商店戸を開ける

一日から市中大通りの店も大抵は戸を開けたが、盛んなは煙草店と酒場とカフェエの店、呉服屋化粧品屋には田舎の兵隊さ

●迅速な復舊工事 流石は金儲けに抜目がないサンパウロ人のこと、復舊工事は急ぎ電車を復舊開始となつた、市中の繁華は何れも取拂はれ

●邦人消息一東 齊藤總領事 家族皆無事、江越技師 一砲命中家族無事、五反田書記生 皆無事、土屋書記生 皆無事

●魚類は今日から 約四週間魚類が来ず今日から漸く生魚が市場に現はれたが戦時中は肉類も満足にな

●上地旅館

此度の革命動亂に際しては皆々様より甚大の御憂慮を辱ふし奉謝候お蔭様にて一同無事に相済み候に付御省念被下度乍ら此段に紙上御通知申上候

●迅速な復舊工事 流石は金儲けに抜目がないサンパウロ人のこと、復舊工事は急ぎ電車を復舊開始となつた、市中の繁華は何れも取拂はれ

●邦人消息一東 齊藤總領事 家族皆無事、江越技師 一砲命中家族無事、五反田書記生 皆無事、土屋書記生 皆無事

●魚類は今日から 約四週間魚類が来ず今日から漸く生魚が市場に現はれたが戦時中は肉類も満足にな

●回女中入用

眞面目な女一名至急入用。詳細は下記へ。サンパウロ市 岩淵彪夫 Caixa Postal, 1714 Rua Quint. Boeyruha, 80 Sao Paulo

●迅速な復舊工事 流石は金儲けに抜目がないサンパウロ人のこと、復舊工事は急ぎ電車を復舊開始となつた、市中の繁華は何れも取拂はれ

●邦人消息一東 齊藤總領事 家族皆無事、江越技師 一砲命中家族無事、五反田書記生 皆無事、土屋書記生 皆無事

●魚類は今日から 約四週間魚類が来ず今日から漸く生魚が市場に現はれたが戦時中は肉類も満足にな

●海外株式會社伯國支店

謹啓 今回の事變に際しては大方諸彦の御憂慮を蒙り候段奉深謝候弊社は激戦中砲彈三發命中し事務所の一部を破壊致候も幸に社員一同無事に相済み候に付御安心被下度此段不取敢以紙上御挨拶申上候 大正十三年七月二十八日 海外株式會社伯國支店

●迅速な復舊工事 流石は金儲けに抜目がないサンパウロ人のこと、復舊工事は急ぎ電車を復舊開始となつた、市中の繁華は何れも取拂はれ

●邦人消息一東 齊藤總領事 家族皆無事、江越技師 一砲命中家族無事、五反田書記生 皆無事、土屋書記生 皆無事

●魚類は今日から 約四週間魚類が来ず今日から漸く生魚が市場に現はれたが戦時中は肉類も満足にな

HATIRO MIYAZAQUI A EMPRESA PAULISTA DE COLÇAO Ltda. em RIO PRETO. 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地

OPTIMA TERRA Proprietario, Mendes Campos Filho & Co. Rio de Janeiro. 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地 土地

騒動餘聞

▲掠奪品を取戻し 騒動の始めに
ブラス及びモロカ方面の各倉庫を市
民が掠奪したことは既報の如くなる
が戦争がすみ秩序が付きにくるに
筋から之を拘束しに掛り警察から
銀付鐵砲を携へた巡査を前にし一網
打盡片端から各戸を臨検したモロカ
附近など役人が戸を蹴破つて闖入す
る様は物凄程である本社のある所
なども近邊は強張りの多乏人が多
のてシコタマすくね込んで居た奴
何れも物の美事に吐き出しあつた
臨検隊の一部は本社にも闖入したが
米が半俵と書籍と活字だけなので張
合ひがなかつたらしくアキ、ノン
テンナードとつぶやいて居た、押
した品物は何れも荷馬車に山と積
んで持運んだが之れが元の主に戻
のやら一網にしてサンタカザの
収入になるものやら、向中流の風
をした家でも火事場泥棒をやつた
立派な婦人などが役人から糞味
にこなされて居たのを見受けた、

▲田舎兵士の都見物 他州から來
た兵卒どもは天抵ウソを明かされて
サンパウロに連れて來られたもので
あるが愈々サントスに着いて本當の
ことを聞き知つた時には顔色が無
つたやうな、然るに日出度叛徒が退
いて傘の臺を無事につなぎ止めて聖
市に繰り込む俄かに氣が大きくな
り腕づく下サンパウロ見物に來た
と云つてゐるものもあつた、所が此
の兵隊さん共何れもカイビラな
聖市の廣い建物の大きいのこ
はビツクラして仕舞ひ夜分迷兒にな
つてウロ／＼してゐる者も少なくな
つた、

▲兵隊さんの只乗り ไลท์は兵
隊さんに電車は無賃で乗せたが之に
味をしめた譯か兵隊さんの自動車
乗りが流行しショフエーロ連もこれ
には鐵砲丸以上の大警戒をやり、兵
隊の要求ださ何の彼とソツをついて
乗せないことにして居た政府や市役
所の小役人なども此際さばかり只乗
りをする者少なからず殊に警察の奴
が一番タチが悪かつたが、

御禮

此度の革命動亂に際しては皆
々様より甚大の御愛慮を辱ふ
し奉謝候お蔭様にて一同無
事に相済み候に付御省念被
下度乍ら儀此段紙上御通知
申上候 敬具
大正十三年七月二十八日
聖市
ガラジみかご
電話 シダデー四〇

▲女を裸体にして拘禁 此は
ナンヤで話であるが官兵の成る者が
同地を女を數人裸体にして永く拘禁
してあつた尙同地方では官兵が強
をやつたのも事實らしく司令部
隔つて居た所には可成悪辣なことが
行れた

常盤旅館

此度の動亂に際しては皆様より
一方ならぬ御配慮に預り有
難く御禮申上候お蔭様にて家
族一同無事相過し候間乍ら儀
安心被下度不取敢紙上御禮
申上候 敬具
大正十三年七月二十八日
聖市

▲女を裸体にして拘禁 此は
ナンヤで話であるが官兵の成る者が
同地を女を數人裸体にして永く拘禁
してあつた尙同地方では官兵が強
をやつたのも事實らしく司令部
隔つて居た所には可成悪辣なことが
行れた

藤崎商會

本店 リオデジヤネイロ
支店 ベルナンブーコ
支店 サンパウロ、ルア
サンベント六八・A

▲女を裸体にして拘禁 此は
ナンヤで話であるが官兵の成る者が
同地を女を數人裸体にして永く拘禁
してあつた尙同地方では官兵が強
をやつたのも事實らしく司令部
隔つて居た所には可成悪辣なことが
行れた

郷里送金

▲郷里送金
御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の
為替相場にて日本金に換算可致候
日本内地郵便局替替、書留料其他總て當店
に於て負担いたし届け申上候
里の受取人へ送り届けるに
金子は当店へ御送り届けて下度儀は横濱正金銀
行約定としてサンパウロ、コンメルシアルバンク
ノロエスタド、エスタド、サンパウロへ
御送り届けて下度儀は必す忘れず
御送り届けて下度儀は必す忘れず
御送り届けて下度儀は必す忘れず

▲女を裸体にして拘禁 此は
ナンヤで話であるが官兵の成る者が
同地を女を數人裸体にして永く拘禁
してあつた尙同地方では官兵が強
をやつたのも事實らしく司令部
隔つて居た所には可成悪辣なことが
行れた

Dr. Takaoka
Medico e Operador
醫師 高岡專太郎
聖市 フアグンデス街八
電話 セントラル 四一八〇

Csaka Shosen kaisha
日本 かなだ丸
日本 ばなま丸
Antunes dos Santos e comp.
Rua José Bonifacio 17 S. Paulo
Rua 15 Novembro 167 Santos
Wilson Sons & Co. Ltd
Av. Rio Branco 17 Rio

DR. M. SAÇADA
MEDICO E OPERADOR
C. Postal, 124 Est. Lins
Linha Noroeste
伯國リオ醫科大學醫學士
笹田正數
ノロエスタ線リンス驛
郵函 一三二四

Fujisaki & CO.
Rua São Bento 68 A
Tel 2788—Central
Caixa 344 São Paulo
日本雜貨
本店 リオデジヤネイロ
支店 ベルナンブーコ
支店 サンパウロ、ルア
サンベント六八・A

FERNANDO HAKRADT Co
Rua de S. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa, 948 São Paulo,
肥料 肥料
作物に肥料は一番大切で、弊店の肥料は
獨逸式の手、綿、野菜、珈琲、ミロ等夫々別
の肥料を差上り、品物は極上有効です
四月十五日より一噸に付十ミル宛値上げす
！本人諸君には特に御便宜を計ります
聖市、ルアサンベント三十三番二階七號室
フエルナンドハツクラト商會
九四八

三共商會
于鹽削
魚辛節
發賣元 サントス市ルア、セナドールダタス五十番
電話 セントラル 三〇五四番
カイシヤ 三二八番

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD
Rua da Candelaria No. 23
Caixa No. 380
RIO DE JANEIRO
横濱正金銀行支店
リオ、デ、ジヤネイロ
預金 日本貸定期預金利息六ヶ月以上年六分
預金 伯貨定期預金利息(六ヶ月以上年五分)
預金 伯貨定期預金(小口) 年四分
預金 伯貨定期預金(小口) 年四分
預金 伯貨定期預金(小口) 年四分
預金 伯貨定期預金(小口) 年四分
預金 伯貨定期預金(小口) 年四分